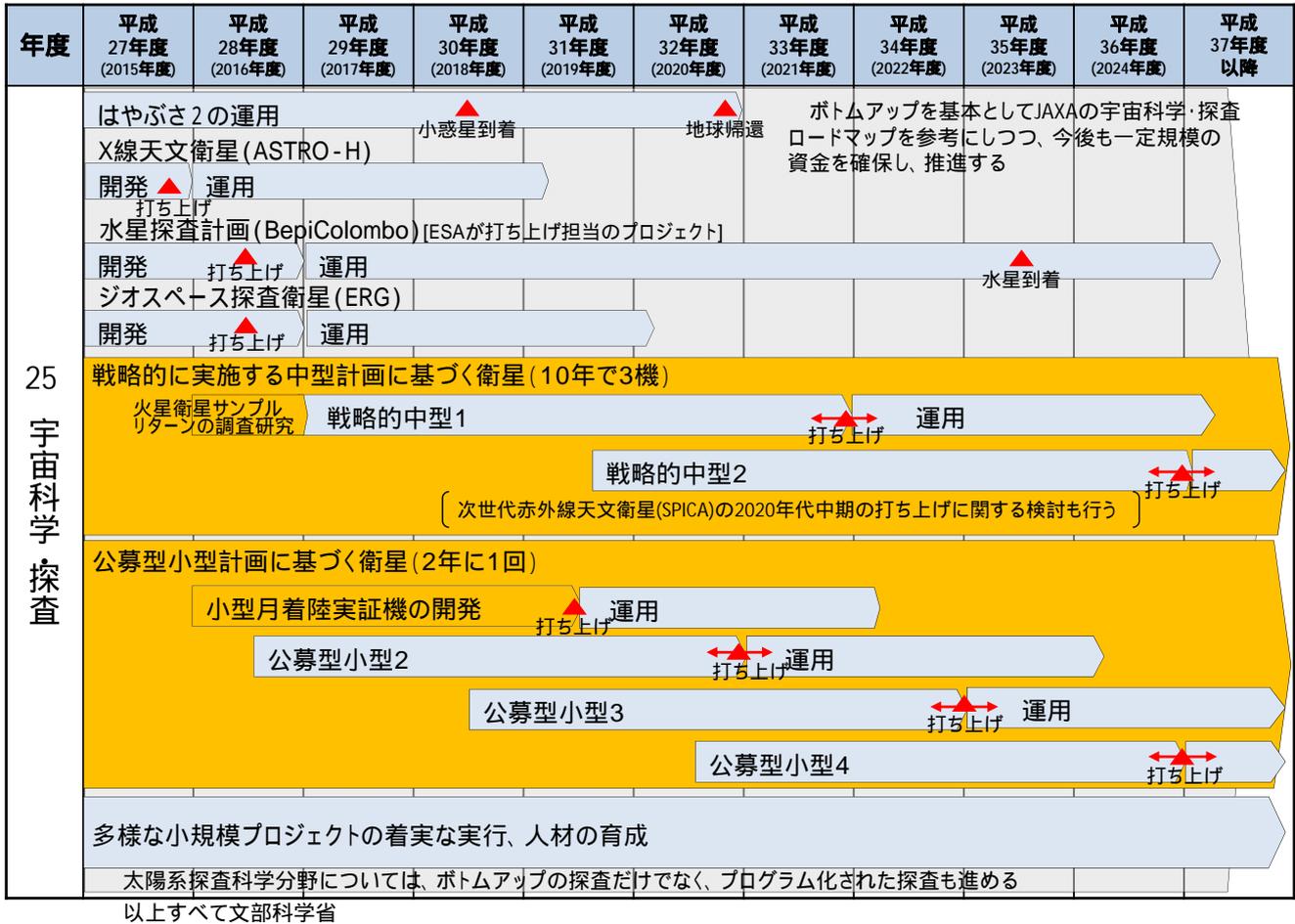


宇宙科学・探査小委員会関連
工程表

4.(2) ix)宇宙科学・探査及び有人宇宙活動



25 宇宙科学・探査

成果目標

【基盤】 学術としての宇宙科学・探査について世界的に優れた成果を創出し人類の知的資産の創出に寄与するとともに、我が国の学術研究と宇宙開発利用を支える人材を育成する。

平成27年度末までの達成状況・実績

戦略的中型計画1の第1候補として、太陽系探査科学のプログラム化も踏まえ、JAXA宇宙科学研究所 (ISAS) において、火星衛星からのサンプルリターンミッションについて重点的検討を開始した。また、研究委員会からISAS所長に対し3つの候補が答申され、ISASにおいて、戦略的中型計画2を目指して検討を開始し、2候補を概念設計活動に進むよう評価した。

公募型小型計画1として小型月着陸実証機を選定した。また、公募型小型計画2、3についての公募を開始する。

宇宙科学・探査分野における人材育成について、今後の取組について検討を開始する。

平成28年度以降の取組

戦略的中型計画について、平成28年度に火星衛星サンプルリターンミッションに向けた計画の具体化を進める。

公募型小型計画については、小型月着陸実証機の開発に着手し、平成31年度の打ち上げを目指す。

多様な小規模プロジェクトについては、木星氷衛星探査計画 (JUICE) 等の国際プロジェクトへの参画も含め、積極的に検討を進める。